10人の賢人による2年に及ぶ議論の集大成! サイバー・宇宙・無人兵器による 新しい戦争の形とは? 自衛隊はそれに適応できるのか? 緊急提言! 無人兵器をめぐる法的課題 @NAS# ©DVID9

## 笹川平和財団新領域研究会

ウクライナ戦争は、熾烈なサイバー攻撃や、宇宙の衛星の重要性、戦場を飛び交う ドローンといった「新しい戦争の形」を浮き彫りにした。台湾有事の危機が高まる 中、それは将来の日本が直面する戦場の姿だ。しかし、現在の国内法・国際法の議 論は、そうした戦場の急速な変化に追いつけていない。自衛隊幹部OB、法学者、弁 護士などからなる「新領域研究会」は、2年に及ぶ議論を交わし、サイバー・宇宙・無 人兵器といった「新領域」をめぐる様々な法的課題を分析。日本の安全保障の鍵を 握る「新領域安全保障」の姿を探った。

発刊にあたって 佐藤 謙

目

次

抜

粋

第一章 領域横断のあたらしい戦争の形

ロシア・ウクライナ戦争と領域横断の戦い 大澤 淳 ハイブリッド戦争の概念 大澤 淳

先端技術の進化と領域統合の戦い 長島 純

国際法の適用枠組みと国内法

サイバー活動・電磁波・宇宙に関する技術的展開の国際人道法への影響 真山全 民間企業活動と新領域における安全保障問題 橋本豪

第三章 サイバー領域の安全保障様相と法的課題

サイバー攻撃対処をめぐる諸課題 住田和明 サイバー領域の安全保障政策の方向性 大澤 淳

国内法制度とサイバー分野――ドイツとの比較の観点から-

国際法上合法なサイバー作戦の範囲 河野桂子

第四章 宇宙·電磁波領域の安全保障様相と法的課題

宇宙領域のアセット防護 長鳥 純

電磁波領域の安全保障利用と法的課題 研究会事務局

第五章 無人兵器の安全保障様相と法的課題

無人兵器の運用と法的課題 渡邊剛次郎

無人兵器の国際法規制 岩本誠吾

新領域の安全保障体制のあり方と法的課題(提言)

お求めは全国主要書店、ネット書店、JR東海MARKETなどにて。

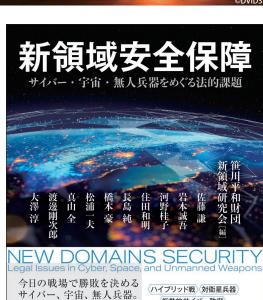
株式会社ウェッジ

https://amzn.to/49W3prE▶

TELO3-5280-0528(土目祝を除く10:00~17:00)



2024年



サイバー、宇宙、無人兵器。 日本が克服するべき法的課 題を10人の専門家が解き明 かす。今、必読の書。

能動的サイバー防御 (ドローン) 電子戦 (情報戦) 国際人道法自衛権

迫る台湾有事の姿とは? 兼原信克氏推薦!「新しい戦争の形」とは?

自衛隊はそれに適応できるのか?

2年間の前人未到の議論の末、緊急提言! ウェッジ

★四六判上製・約388頁 予価:2,750円(税込)

佐藤 謙 元防衛事務次官

岩本誠吾 京都産業大学世界問題研究所長

河野桂子 コペンハーゲン大学軍事研究センター研究員

住田和明 元陸将•元陸上総隊司令官

純 元空将•元航空自衛隊幹部学校長

豪 橋本 大江橋法律事務所パートナー弁護士

松浦 夫 防衛大学校人文社会科学群公共政策学科教授 真山 大阪学院大学国際学部教授

渡邊剛次郎 元海将·元横須賀地方総監

大澤 淳 中曽根康弘世界平和研究所主任研究員